

我が学びや

令和6年10月 4日
白川小 学校便り No.8

文責:校長 村上剛史

学校教育目標: 自他を大切に、よく聞き、ともに学び続ける白川小の子ども
～児童理解を基盤として、みんなでみんなを育て、一人一人の輝きを引き出す教育の推進～

重点目標: 伝えよう・聞こう・わかれよう～心と体の元気づくり～

10月になりましたが、まだまだ暑い日が続きます。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

9月30日に前期の通知表を渡しました。全児童の通知表をじっくり読む機会となり、一人一人の顔を思い浮かべながら成長の喜びを噛みしめました。どうか、お子様の成長やよさを褒めて、次なる成長に向けての意欲を高めてあげてください。

さて、全学年とも11月2日(土)の学習発表会に向けて練習を本格的に開始しました。悪戦苦闘をしながらも上達していることの感動を仲間と共に分かち合うことで、次なる取組への意欲となっているように感じ取れます。希望した役や楽器の担当になれずに悔しい思いをした児童も、今では「自分にできること」「自分が任されたこと」として新たな一歩を踏み出して練習に励んでいます。発表会当日は、仲間と力を合わせて創り出す発表と表情、姿を是非ともご観覧ください。別途、ご案内いたします。

◆6年生 修学旅行に出発！

6年生が、今月10日(木)11日(金)長崎に修学旅行に出かけます。社会科を核として総合的な学習の時間に平和学習を進めてきました。現地での体験により、深い学びになることを期待します。学習発表会に向けての練習期間と重なり多忙となりますが、学年担任が見通しをもって支援することで、児童は主体的に取り組んでいます。その取組の過程において、最上級生としての自覚と責任が培われていくことでしょう。心から応援したいと思います。

◆環境委員会 学校 ISO 行動目標を発表

9月11日の児童集会にて環境委員会が次の4つの学校ISO行動目標を発表しました。

- 1 節電をします
- 2 節水します
- 3 身の回りを美しくします
- 4 自分の物には名前を書きます



さらに、「テープの巻き芯集め」を呼びかけました。これは、文具や医薬品のテープ芯をリサイクルして森林保護に役立てる取組です。環境委員会の児童による主体的な取組です。どうか、行動目標および巻き芯集めについて、ご家庭で声掛けによる支援をお願いします。

◆不審者対応講話〔自分の命は自分で守ろう〕

9月19日に全児童が参加して、主に中央署の武満スクールサポーターの講話を聴いて、被害に遭わないために自分でもできることについて考えました。そこでは、『名札を着用していない大人を見かけた時には、すぐに職員に知らせる』ことを徹底するよう指導がありました。つきましては、保護者の皆様に2点ご協力のお願いがあります。

- 1 忘れ物等を届けに来られる際は、児童昇降口ではなく、事務室または職員室に来室のうえお声掛けください。
- 2 来校の際は、必ず名札を着用してください。

ご不便をおかけいたしますが、児童の安全を守るため、ご理解とご協力をお願いいたします。

◆学校保健委員会 「リフレーミングで「よさ」を見出そう！」

9月25日の6校時にスクールカウンセラー、校医、市保健こども課の方々をアドバイザーとしてお招きして、4～6年児童が参加しました。保健委員会がリフレーミング*1を紹介する劇を披露して、事前に調査したアンケート結果をもとに、学校をよりよくするための意見交換を行いました。

(※1 物事や状況をこれまでと別の視点から捉え直すこと。前向きな気持ちになり、コミュニケーションを円滑にする利点がある)

その後、江崎スクールカウンセラーが、「自分のよさを探し、自信をもって過ごしてほしい」というメッセージを伝えられました。



◆ミニ白川っ子祭り 「自他を大切にし、高め合う子どもに」

本校の重点目標「心と体の元気づくり」の達成に向けて、縦割り班による異学年交流を中心とした遊び活動の継続実施の取組を開始しました。まずは、異学年交流から始めて縦割り班活動への発展充実を目指します。第1回目は、6年と1年が『ダンス』、5年と3年が『伝承遊び』、4年と2年が『集団遊び』をして楽しみました。



今後は、金曜朝の「白川タイム」、業間や昼休み、諸イベント図工の作品鑑賞会、緑化活動、掃除などにおいて、縦割り班活動が充実していくことを目指しています。上級生は困難を乗り越えた先の達成感を味わうことができ、下級生は目指すべき姿を目の当たりにすることができます。異学年が協働することで、自信と思いやりの心が涵養されていく効果が期待できます。

◆白川校区を愛する子どもからのメッセージ

朝、通学路に落ちているごみを拾い集めながら登校している5人の児童がいました。ゴミがポイ捨てされている状況を見るに見かねて、何かできることはないかなと始めたことだそうです。この子たちの中に、自分が住む白川校区を愛し誇りに思い、自分たちの町を守っていききたいという心が育ってきているんだなあと思心から感服し、2日の全校集会で紹介をしました。

ただ、ごみを拾っている時にいろいろな事故に遭うことを一番心配しています。

- 1つめは、自動車やバイク、自転車との接触です。
- 2つめは、川や用水路への転落です。
- 3つめは、拾ったごみによる「けが」です。

けがをしたり、事故に遭ったりしては、これ以上に悔やまれて

悲しいことはありません。だから、町内一斉清掃の時などに、安全な服装や装備で大人と一緒に積極的に参加して町をきれいにする活動をするといいですね。そして、決して無理をせず、大人に任せることも大事です。

アルコールが入った瓶や缶、たばこの吸い殻などを捨てる大人へ、この子たちからの行動がメッセージとして届くといいですね。

